九州産交グループ

NEWS RELEASE

2019年8月20日
九州産業交通ホールディングス株式会社

熊本・桜町再開発事業 商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto」グランドオープン日(9/14㊏)限定

全国初「熊本県内バス・電車無料の日」

県内全路線バス・コミュニティバス4,099便を含む、市電など県下全域の交通機関が対象*1

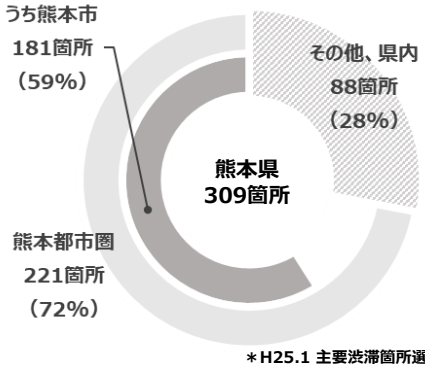
～“公共交通機関の利用が、社会問題解決の一助に……”のメッセージを込めて～

九州・熊本を中心にバス、観光、飲食、物販など暮らしに根差したサービスを展開する九州産交グループは、熊本中心市街地にて建設中の桜町再開発事業の商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto（サクラマチ クマモト）」グランドオープンの2019年9月14日限定で、県内の関係機関や周辺地域と連携、公共交通機関（路線バス*2、コミュニティバス、熊本市電、電鉄電車）を終日無料とする試みを実施いたします。

県下全域を対象とする公共交通機関の無料化は全国でも初めて*3の試みで、九州産交グループは同日が公共交通の利用による社会問題への再認識、および施設周辺の混雑緩和につながることを期待しております。

熊本市内をはじめとする全国の中心市街地では、人口の集中や駐車場不足に伴う慢性的な渋滞が社会問題となっています。渋滞の常態化は経済物流、緊急医療、地球環境など、あらゆる面で甚大な損失を及ぼしかねません。

私ども九州産交グループでは、国内最大数*4のバース（乗降場）となる「熊本桜町バスターミナル（旧：熊本交通センター）」を併設する「SAKURA MACHI Kumamoto」のオープン初日の来館を約10万人と予測。同施設にも800台以上が収容できる立体駐車場を有するものの、中心市街地に過度な混雑を招くことによる周辺地域への影響を懸念しています。そこで、このたび私どもはグループ内のバス事業会社（九州産交バス株式会社、産交バス株式会社）だけではなく、他の県内バス事業会社（熊本電気鉄道株式会社、熊本バス株式会社、熊本都市バス株式会社）、および、熊本市電を運行する熊本市交通局、電鉄電車を運行する熊本電気鉄道株式会社・鉄道事業部に対し当取り組みを提案、9月14日の始発便から最終便まで、同施設の発着に限らない、「熊本県内バス・電車無料の日」の実現に至りました。無料化の実施に係る関係各所への運賃補填は、九州産交グループが負担します。



左写真：建設中の「SAKURA MACHI Kumamoto」（奥）と現在の「熊本桜町バスターミナル」仮停留所／上グラフ：主要渋滞箇所の内訳（令和元年度第1回熊本県交通渋滞対策協議会資料より）

私どもは今回の取り組みを通じ、公共交通機関の利用が、慢性的な渋滞など社会問題解決の一助にもなり得るというメッセージの発信とともに、解体工事から3年以上を経てグランドオープンを迎える「SAKURA MACHI Kumamoto」への興味喚起、また、普段は公共交通機関に馴染みのない方々の利用機会になることを期待しています。併せて、今回の取り組み結果をもとに各種分析を進め、今後のサービス改善に繋げていく計画です。

全国的な課題とされる地方都市における活性のポイントは、地元の公共交通の発展と雇用創出にあると示唆されます。九州産交グループでは桜町再開発事業の完成を契機に、従来以上にグループ各社の事業発展に専心し、九州・熊本の中心市街地におけるさらなる活性化と、県内外への回遊性向上への貢献を使命と考えています。

***1 JR、肥薩おれんじ鉄道、南阿蘇鉄道、くま川鉄道を除く。／*2 空港往復便（リムジンバス、直行便）、土曜運休便、県外乗入れ便を除く。／*3高速バスマーケティング研究所株式会社調べ。／*4 本日現在。**

«当件に関するお問い合わせ»

九州産業交通ホールディングス株式会社／グループ広報担当：和田

熊本県熊本市中央区辛島町5番1号

080-5801-8583（本人直通）wada-naoto@kyusanko.co.jp

SAKURA MACHI Kumamoto

別紙＿「公共交通1日無料」対象バス一覧

九州産交グループ

運行会社	区分	名称	当日運行	無料化	
九州産交バス	一般路線バス	一般路線バス	有	対象	
	一般路線バス	深夜バス	有	対象	
	一般路線バス	空港リムジンバス	有	対象外	航空便利用者のトラブル回避
	一般路線バス	通町直行便（熊本駅前⇒通町筋）	無	対象外	土曜運休
	一般路線バス	熊本駅直行便（渡鹿四丁目⇒熊本駅前）	無	対象外	土曜運休
	一般路線バス	熊本駅直行便（東町中学西口⇒熊本駅前）	無	対象外	土曜運休
	一般路線バス	熊本駅直行便（阿蘇くまもと空港⇒熊本駅前）	有	対象外	リムジン同様
	一般路線バス	阿蘇くまもと空港直行便（西部車庫・田崎橋・自衛隊⇒阿蘇くまもと空港）	有	対象外	リムジン同様
	高速バス（県内快速）	Aso-go	有	対象	
	高速バス（県外）	都市間バス（ひのくに・やまびこ・横断・たかちほ・なんぶう・きりしま・りんどう・さいかい・福岡～黒川・フェニックス・ASOエクスプレス）	有	対象外	県外乗入は対象外
	高速バス（県外）	夜行バス（サンライズ・あそくま・不知火）	有	対象外	県外乗入は対象外
産交バス	一般路線バス	一般路線バス	有	対象	
	高速バス（県内快速）	たかもり号	有	対象	
	高速バス（県内快速）	ひとよし号	有	対象	
	高速バス（県内快速）	あまくさ号	有	対象	
	高速バス	Ｂ＆Ｓみやざき	有	対象外	県外乗入は対象外
	コミュニティバス	菊陽町巡回バス（キャロッピー号）	無	対象外	土曜運休
	コミュニティバス	球磨村コミュニティバス（上荒地・椎原線）	無	対象外	土曜運休
	コミュニティバス	球磨村コミュニティバス（神瀬線）	有	対象	
	コミュニティバス	宇土市コミュニティバス（行長しゃん号）	有	対象	
	コミュニティバス	うきうきあまくさ♪シャレトル便（三角西港）	有	対象	
	コミュニティバス	玉名市街地循環バス（ぐるっとメロディ号・ぐるっとフラワー号）	有	対象	
	コミュニティバス	阿蘇火口線	有	対象	
	コミュニティバス	小国郷ぐる～っとバス	有	対象	
	コミュニティバス	高森町民バス	有	対象	
	コミュニティバス	南阿蘇ゆるっとバス	有	対象	
	コミュニティバス	小国郷ライナー	有	対象	
	コミュニティバス	南郷ライナー	有	対象	
	コミュニティバス	三角中学校臨時バス	無	対象外	土曜運休
	コミュニティバス	大津駅南口線	有	対象	
	コミュニティバス	テクノ団地線	有	対象	
	コミュニティバス	上天草市SUNまりんバス	有	対象	
	コミュニティバス	上天草高校通学バス	無	対象外	土曜運休
	コミュニティバス	天草本渡市街地循環バス（のってみゅうかー）	有	対象	
	コミュニティバス	天草空港シャトルバス	有	対象	
	コミュニティバス	八代市街地循環バス（ゆめバス、まちバス、みなバス）	有	対象	
	コミュニティバス	人吉周遊バス（じゅぐりっと号）	有	対象	
	コミュニティバス	水俣市みなくるバス	有	対象	
電鉄バス	一般路線バス	一般路線バス	有	対象	
	一般路線バス	深夜バス	有	対象	
	コミュニティバス	菊陽町　巡回バス（キャロッピー号）	無	対象外	土曜運休
	コミュニティバス	菊池市　きくちべんりカー	有	対象	
	コミュニティバス	合志市　レターバス	有	対象	
	コミュニティバス	合志市　東西線	有	対象	
	コミュニティバス	合志市　循環バス	有	対象	
熊本バス	一般路線バス	一般路線バス	有	対象	
	一般路線バス	深夜バス	有	対象	
熊本都市バス	一般路線バス	一般路線バス	有	対象	
	一般路線バス	深夜バス	有	対象	
	コミュニティバス	熊本市ゆうゆうバス	無	対象外	土曜運休
	コミュニティバス	熊本城周遊バスしろめぐりん	有	対象	
	コミュニティバス	熊学ライナー	無	対象外	土曜運休
	コミュニティバス	国立病院シャトル	有	対象	
上記共同運行（産交＋電鉄＋熊バ）		東バイパスライナー	無	対象外	土曜運休
川端屋運送	コミュニティバス	新和町巡回バス	無	対象外	土曜運休
苓北町	コミュニティバス	苓北町巡回バス	有	対象外	無料バス
タクシー3社	コミュニティバス	美里町バス	無	対象外	土曜運休
麻生交通	コミュニティバス	御船町コミュニティバス（麻生交通の自主運行ゆえ、麻生交通への支払い。）	有	対象	
麻生交通	コミュニティバス	甲佐町営バス（※甲佐町が委託主であるため甲佐町へのの支払い。）	有	対象	
山都交通	コミュニティバス	山都ふれあいバス（山都町が委託主であるため山都町への支払い。）	有	対象	
一勝地タクシー	コミュニティバス	球磨村コミュニティバス（球磨村が委託主であるため球磨村への支払い。）	有	対象	
七城観光	観光バス	阿蘇ぐるっと周遊バス（DCキャンペーン）	有	対象外	観光バス　1,000円均一
西鉄バス	一般路線バス	南関線	有	対象外	県外乗入は対象外
南国交通	一般路線バス	水俣線	有	対象外	県外乗入は対象外
神園交通	一般路線バス	すーぱーばんべいゆ（空港～八代）	有	対象外	空港線のため
熊本市交通局	軌道	熊本市電	有	対象	
熊本電気鉄道	鉄道	電鉄電車	有	対象	

別紙＿九州産交グループについて

■あゆみ

「熊本の産業振興会社になる」という創業理念のもと、1942年（昭和17年）に運輸事業を祖業として事業を開始。
今年2019年（令和元年）で創業77年を迎えます。

1942年　▶九州産業交通株式会社設立
1944年　▶熊本整備工場発足
1958年　▶阿蘇山上にてロープウェー事業開始
　　▶貸切バス営業所設置
1960年　▶全日本空輸株式会社と総代理店契約を締結し、
　　航空代理店業開始
1962年　▶旅行業営業開始
　　（現：九州産交ツーリズム株式会社を設立）
1969年　▶「熊本交通センター」開業
1970年　▶レストラン・売店事業営業開始
　　（現：九州産交ランドマーク株式会社を設立）
1971年　▶空港レストラン、喫茶、売店開設
1973年　▶九州自動車道利用の高速特急「ひのくに号」運行開始
　　▶「センタープラザ」増築
1991年　▶熊本フェリー株式会社を設立
1998年　▶熊本～島原間高速カーフェリー就航
2005年　▶ H.I.S.グループ傘下となり、新企業理念を策定
2006年　▶九州産業交通ホールディングス株式会社を持株会社として
　　3つの事業会社へ分社化
2007年　▶バス・整備事業の拠点を熊本市上代に移転、
　　新社屋（西部車庫）落成
2008年　▶熊本桜町再開発準備株式会社を設立
2012年　▶株式会社エイチ・アイ・エスが親会社となる
2015年　▶桜町再開発事業の着工
　　▶九州産交リテール株式会社を設立
2017年　▶株式会社KASSE JAPAN、九州BMサービス株式会社、
　　九州産交プランニング株式会社を設立
2018年　▶九州産交リテール株式会社が肥後リカー株式会社、
　　および株式会社華まる堂をM＆A
　　▶九州産交カード株式会社を設立
2019年　▶桜町新施設開業

創業当時の本社

阿蘇ロープウェイ運行開始

交通センターと岩田屋伊勢丹

特急「ひのくに号」

西部車庫本社

■グループ体系図

代表取締役社長　矢田素史
やだ・もとし／広島県福山市出身、1961年7月25日生まれ、58歳。防衛大学校卒。84年4月陸上自衛隊入隊。93年㈱エイチ・アイ・エス入社、98年5月関東営業本部次長、2000年5月社長室長、01年9月人事部長、04年11月管理部長、05年10月九州産業交通㈱顧問、同年11月25日社長就任。

＊当資料掲載の情報は本日現在の内容です。

別紙＿桜町再開発事業について

■再開発事業前身（熊本交通センター・センタープラザ）

桜町再開発事業の前身となる「熊本交通センター」は、1969年、熊本県庁跡地に九州の中心部、現在の熊本市中央区桜町に設立されました。

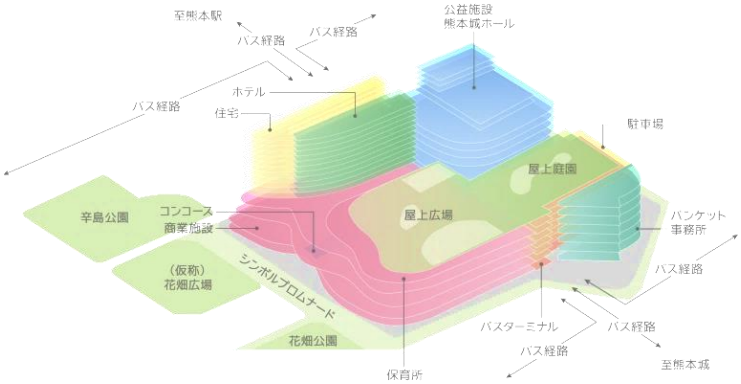
当時は、“東洋一”と言われたバスターミナル（50バース）や大規模ホテル、総合ショッピングセンター、レジャー施設などを完備し、地下1階の名店街は「センタープラザ」と呼ばれ、九州一の規模を誇りました。センタープラザは1969年にオープン、1973年10月に増築工事があり、1994年にリニューアルされました。また、熊本交通センターの隣には県民百貨店（旧：くまもと阪神）があり、バスターミナルや周辺市街地への連絡通路も整備されていました。

施設の老朽化と、中心市街地の利便性を追求する都市計画の策定に伴い、2015年より改修工事が開始されています。

写真：当時の「熊本交通センター」全景とバスターミナル

■再開発街区概要

事業名称	▶熊本都市計画　桜町地区第一種市街地再開発事業
事業主	▶熊本桜町再開発株式会社
所在地	▶熊本県熊本市中央区桜町3番10号他
用途	▶商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto」
	▶シネマコンプレックス
	▶バスターミナル（熊本桜町バスターミナル）
	▶公益施設（熊本城ホール）
	▶ホテル（ホテルトラスティ プレミア 熊本）
	▶住宅（ザ・熊本ガーデンズ）
	▶バンケット（ラソール　ガーデン・熊本）
	▶オフィス・バンケット棟（サクラマチヒルズ）
	▶駐車場（サクラマチ熊本駐車場）
	▶保育所
敷地面積	▶30,266.83㎡
延床面積	▶162,440㎡



■「桜町」由来

「桜町」はかつて、熊本城下で桜の名所とされた古城（ふるしろ）＝加藤清正が熊本城を築く前に存在した隈本城（くまもとじょう）を囲うように流れる坪井川を渡る橋として、明治31年に架けられたのが、現存する「桜橋（さくらはし）」です。その10年後、元々は山崎町とされていた地域の一部が、この橋にちなんで「桜町」と名付けられたとされています。

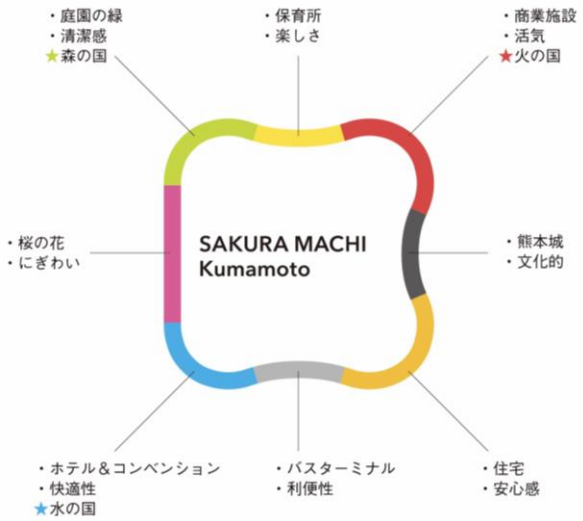
熊本の中心部、九州全体のゲートウェイ化を目指すSAKURA MACHI Kumamotoが完成する桜町は今年、誕生から111年となります。

別紙＿SAKURA MACHI Kumamotoについて

九州産交グループ

■「SAKURA MACHI Kumamoto」概要

運営会社	▶九州産交ランドマーク株式会社
所在地	▶熊本県熊本市中央区桜町3番10号
着工	▶2017年1月16日
オープン	▶2019年9月14日
延床面積	▶約44,500㎡ ※シネマコンプレックス含む
売場面積	▶約28,000㎡ ※シネマコンプレックス含む
商業棟	▶地上5階・地下1階
商業店舗数	▶149店舗 ※シネマコンプレックス含む
来館予想人数	▶約2,500万人／年間 （約68,000人／日） ※バス利用含む



「SAKURA MACHI Kumamoto」完成予想イメージ

■「SAKURA MACHI Kumamoto」特徴

熊本初出店（九州初を含む）47件、また、市内から拠点の移転、地元では馴染みの深いテナントなど、グルメからファッション、各種サービスに至る多彩なテナントが集結。訪れるだけで楽しい演出も豊富に揃う、エンターテインメント施設です。
バスターミナル、熊本城ホール、ホテル・住宅なども併設される、県内無二の複合大型施設がいよいよ完成します。

＊当資料掲載の画像はすべてイメージです。